

デジタル入稿ガイド

(支社用)



南日本新聞社

2024.1 Ver. 5.3

はじめに

南日本新聞社 営業局

弊社は平成19年10月から広告原稿のすべてをデジタル化いたしました。入稿に際しては完全原稿を基本としており、弊社での修正は行わないこととしています。

このデジタル入稿ガイドは、原稿制作に携わる方が新聞印刷の特性を理解していただき、南日本新聞に円滑に掲載できるよう基本的な知識や守っていただきたいことをまとめたものです。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお今後もシステムや作業方法の変更により、入稿ガイドを変更する場合があります。その都度ご案内いたしますので、即応していただきますようお願い申し上げます。

□お問い合わせ

本ガイドおよびデータ入稿に関する

お問い合わせは……………

南日本新聞社 営業局 編成部

Tel.099-813-5079

までお願いいたします。

【改訂履歴】

Ver.1.0 (2001.06) 初版

Ver.2.0 (2007.04) ファイル名の禁止文字、グループ解除など追記

Ver.3.0 (2008.04) 制作ソフトのバージョンアップ、サイズ変更など

Ver.3.1 (2008.10) PhotoshopEPS保存のオプション追加、チェック票項目追加など

Ver.3.2 (2010.03) オーバープリントは使用禁止に変更

Ver.3.3 (2010.04) 広告営業本部に名称変更、夕刊の項を削除(入稿寸法)

Ver.3.4 (2011.11) 「MOデータの制作入稿サイズ」を改定

Ver.4.0 (2013.07) 「対応バージョン」CS4まで、「弊社のシステム設定」網線数、網角度

入稿媒体から2HD-FD削除、入稿サイズ一部追加、営業局に名称変更

Ver.4.1 (2014.04) サイズ変更、フェリアのUCRなど

Ver.4.2 (2015.05) 網線数変更、QRコードについて

Ver.5.0 (2016.04) N-PDF関連を追加

Ver.5.1 (2016.05) N-PDFのファイル名規約の注意点を挿入

Ver.5.2 (2021.12) 12段化に伴い、制作入稿サイズを変更。入稿方法にメールを追加

Ver.5.3 (2024.1) 紙面一部改編に伴い、制作入稿サイズ・原稿データ作成の留意点を一部変更

目 次

◆基本的な注意事項	1
◆原稿データ作成の留意点 1	2
◆原稿データ作成の留意点 2	3
◆サイズ	4
◆カラー原稿・モノクロ原稿について	5
◆アプリケーション Photoshop	6
◆アプリケーション Illustrator	7
◆入稿前のチェック	9
◆入稿チェック票	10
◆入稿締切時間	裏表紙
◆U C R 設定と総インク量について	資料

基本的な注意事項

広告原稿だけのデータにする ↓

孤立点 (不要なアンカーポイント) 削除

画像が広告エリアからはみ出す場合
白塗りのオブジェクトで隠さずマスク処理する

このような処理は禁止

透明なオブジェクト削除

フォントデータを含む
孤立点削除

広告エリアから余分な画像、文字がはみ出さないこと

これは
基本的な注意事項の
原稿です

ガイドライン削除

ガイドライン削除

ロゴ・カット類は1200dpi
で取込むことを推奨

フォントデータは全てア
ウトライン化する

南日本新聞社

〒890-8603
鹿児島市 与次郎一丁目 9番 33号

◆〇〇年〇月〇〇日／掲載

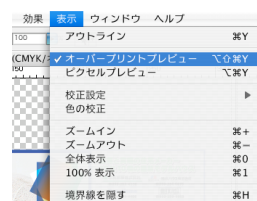
注釈、トンボは削除

(N-PDF形式作成の場合)
原稿サイズをアートボードサイズとして設定する



オーバープリントが設定されていると、文字が欠落したり、意図しない色再現になるなど重大な掲載事故につながる可能性があります。データ保存時には上図のようにオーバープリントは「破棄」を選択し保存してください。

※イラストレータVer.9以降は、「オーバープリントプレビュー」を使うと画面上で確認することができます。データ保存前に確認してください。



原稿データ作成の留意点1

[入稿データ形式] (いずれもMAC版)

※2016年4月1日付からN-PDF形式での入稿

データ作成は、下記の「制作ガイド N-PDF ver1.3」に従ってください。

・ファイル名については3ページの「N-PDFファイル名規約の注意点」を参照してください。

・**N-PDF形式**(規定のプリフライトを実施し、エラーがないことを確認)

(画像データは、Photoshopで制作されたEPS形式またはTIFF形式のファイル)

・**Illustrator EPS形式**

(画像データは、Photoshopで制作されたEPS形式のファイル)

[制作環境] (いずれもMAC版)

・Photoshop (**N-PDF形式**)CS2～ (**EPS形式**)ver.5.5～CS4

・Illustrator (**N-PDF形式**)CS2～ (**EPS形式**)ver.8～CS4

・Acrobat Pro (**N-PDF形式**)**Acrobat Pro ver.9以上でのプリフライト必須**

[データ作成] (本「デジタル入稿ガイド」に従う)

(**N-PDF形式**)詳しくは、日本広告業協会発行「新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver1.3」

(**EPS形式**)詳しくは、日本広告業協会発行「新聞広告デジタル制作・送稿ガイド ver2.0」

※上記ガイドは、

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

から取得できます。

[基本的な注意事項]

◎EPSデータをEPSデータ内に再配置するネスティングは、2回以上行くとエラーの原因になりますので避けてください。

◎データにはトンボ、注釈、不要なオブジェクトなどは入れないでください。

◎弊社RIPにはフォントを搭載していません。フォントデータは全てアウトライン化してください。

◎フォントデータを含む孤立点は削除してください。

◎Photoshopで文字を画像にしたものは、ジャギーが出ますので小さい文字は避けてください。

◎**使用する最小文字は6ポイントを推奨**。それ以下を使用し判読出来ない場合、再入稿をお願いする事があります。小さい明朝体の白ヌキは、文字が不鮮明になる可能性がありますので、なるべく避けてください。

◎**QRコードは必ずモノクロ2階調で作成**してください。グレースケールやCMYを使用するとボケや色ズレなどで正常に読み取れない場合があります。

◎**弊社のUCR(インキの総使用量制限)は240%**です。墨ベタは、特殊な場合を除き黒色(K 100%)

だけを使用し、CMYは0%にしてください。

※詳しくは本ガイド末尾の「UCR設定および総インク量について」をお読みください。

◎**オーバープリントは使用できません。データ保存時にオーバープリントは「破棄」を選択してください**。オーバープリントを設定すると、文字の欠落や意図しない色再現を起こす場合があります。Illustratorの「オーバープリントプレビュー」を使えば画面上で確認できます。データ保存前に確認をお願いします。

原稿データ作成の留意点2

[データ容量]

データ容量は、新聞 1 ページ(A2)サイズは、200MBまで。

二連版(A1)サイズは、400MBまで。

※これを越えるような場合は事前にご相談ください。

[入稿方法]

メールまたは媒体持参

[入稿媒体]

◎メディアは、CD-R、CD-RW、230MBMO、640MBMO（すべてMacintoshフォーマット）

◎基本は1媒体に1件のデータとしますが、複数のデータを入れる場合はそれぞれをフォルダで管理し、データを的確に識別できる簡潔で明瞭なファイル名を付けてください。

◎フォルダ名は広告主名か企画名で入力し、フォルダ内にデータを納めてください。

[ファイル名]

◎フォルダ名・ファイル名は、**全角で15文字以内**で付けてください。機種依存文字は使用不可。

◎フォルダ名・ファイル名に下記の文字を使用しないでください。弊社システムが誤動作を起こす可能性があります。

_(アンダーバー) *(アスタリスク) /(スラッシュ) \ (バックスラッシュ) ¥(円マーク) :(コロン) ;(セミコロン) ?(クエスチョン) <>(小なり 大なり) |(縦棒)

ファイル名に . (ドット) の多用は禁止します。ファイル拡張子のみで使用してください。

これらの文字があるとシステムトラブルが発生し取り込めない場合があります。

※N－PDFのファイル名規約の注意点※

◎N－PDF原稿には必ず拡張子の前に**N**あるいは**n**をつけてください。

(例) 20240401南日本新聞社 **N**.pdf

◎確認用PDFは違いが確実に分かるようなファイル名をつけてください。

(例) 20240401南日本新聞社 **確認用**.pdf

[その他]

◎データは完全原稿で入稿してください。弊社では訂正、象嵌(ゾーガン)は行いません。

修正が必要な場合は再入稿になります。

◎入稿されたデータは保存いたしませんので、同一原稿でも再入稿になります。

ただし、同一原稿で長期契約の場合はお申し出ください。弊社システム内に保存いたします。

◎初めてデータ入稿される場合は、事前に入稿テストを受けていただきます。(ダミー原稿で可)

◎入稿前に必ずアンチウイルスソフトで問題が無いことを確認し、データチェック票(弊社仕様)を添付してください。当社チェックでウイルスが検出された場合は、安全が確認されるまでデータ入稿を禁止します。

制作入稿サイズ

2024.1.16改定(2024.1.29～適用)

スペース		mm	
		縦	横
ワイド	新聞罫有り	508.5	787.0
	エト下罫有り		
15段	新聞罫有り	508.5	377.0
	エト下罫有り		
10段		338.0	377.0
8段		270.0	377.0
7段		235.5	377.0
6段		201.5	377.0
5段		167.5	377.0
4段		133.5	377.0
3段		99.5	377.0
2段		65.0	377.0
1段		31.0	377.0

横サイズを分割で制作する場合		横(mm)	
ワイド	新聞罫有り	787.0	
	エト下罫有り		
1割	新聞罫有り	377.0	
	エト下罫有り		
2割		187.5	
3割		124.0	
4割		93.0	
5割		73.5	
6割		61.0	
8割		45.5	

雑報		mm	
		縦	横
題字下	大	68.5	63.0
	小	34.0	63.0
記事中	A(1段1枠)	40.0	29.0
	B(1段2枠)	40.0	67.3
	C(2段2枠)	82.0	58.0
突出し	A(2段0.5枠)	82.0	14.0
	B(2段1枠)	82.0	29.0
	C(2段1.5枠)	82.0	44.0
	D(2段2枠)	82.0	58.0
	E南風録横(旧2段1.5枠)	65.0	50.5
	F南風録横(旧2段2枠)	65.0	67.3
TV欄ハイライト中	A(旧2段1.5枠)	65.0	50.5
	B(旧2段2枠)	65.0	67.3
	C(旧1.5段3.5枠)	50.5	113.3
	D(旧2段3枠)	65.0	103.0
TVプロ中		9.5	37.5
記事挟み		40.0	9.5

企画物		mm	
		縦	横
朝刊 1面	天気予報欄中	12.0	54.0
"	書籍(8割)	99.5	45.0
"	書籍(6割)	99.5	61.0
"	ブックレビュー	99.5	176.5
"	ブックレビューのカット	99.5	20.0
朝刊カレンダー・2TV	カレンダー中(3段)	99.5	27.0
"	カレンダー中(2段)	65.0	20.0
"	カレンダー中(1段)	31.0	47.5
"	カレンダー中左	99.5	32.5
	(旧旅行案内横)		
"	きょうのBS横	100.0	35.0
"	2TVハイライト中	65.0	21.0
2県	黒じよか横	125.0	19.5
朝刊 2面	かお横	82.0	19.5
	企画箱横	82.0	24.0
朝刊 1社	まんが下	40.0	50.5
朝刊 2社	週間天気中	63.0	63.0
	週間天気中(休刊日前後)	40.0	63.0
朝刊 3社	宝くじ下	30.0	63.0
朝刊 1テレビ	TVハイライト中	65.0	17.0
"	運勢欄中	12.5	42.5
"	TVプログラムタテ帯	324.0	11.5
"	TVプログラム中	9.5	37.5
スポーツ面	スポ広記事中	31.0	67.3
	スポーツ速報中	31.0	67.3
その他	ピコ(特大窓)	75.0	44.0
	ピコ(大窓)	50.0	44.0
	ピコ(小窓)	25.0	44.0
	楽Luckマーケット(1枠)	70.0	91.0
	楽Luckマーケット(2枠)	70.0	185.5

■文字サイズは6ポイント以上

◆フルカラー広告（CMYK4色）

カラーはCMYKモードで処理し、配置してください（RGB、スポットカラーは厳禁）。RGBモードで配置したデータの色は保証できません。

カラー写真原稿の取り込みには十分注意し、色調を整えてください。弊社のUCR（インキの総使用量の制限）は240%です。これ以上になると対向面に色が移り、印面汚れになります。

背景色の墨ベタはCMYKすべてを100%で配置せず、特殊な場合を除き黒色（K100%）だけを使用し、CMYは0%にしてください。

◆2色混のカラー広告（スミ版 + CMYいずれか2色）

カラーはCMYKモードで処理し、配置してください（RGB、スポットカラーは厳禁）。RGBモードで配置したデータの色は保証できません。

◆単色のカラー広告（スミ版 + CMYいずれか1色）

単色部分はCMYのいずれか1色を使用できます。データはCMYKカラーモードのC版（シアン）で作成してください（ただし、掲載面がフルカラーの場合は、使用する色のデータで作成）。色校正ゲラは使用する色で出力したもの（簡易インクジェット出力で可）。

◆特色のカラー広告（スミ版 + 特色）

データ上は特色で使用する部分は、CMYKカラーモードのC版（シアン）で作成してください。色校正ゲラは使用する色の疑似色で可。ただし、使用するインキ色見本のパッチをゲラ4枚に貼付してください。

◆モノクロ広告（スミ版 1色）

モノクロ広告はスミ版1色で作成し、写真データも必ずグレースケールで処理してください（CMYK、RGB、スポットカラーは厳禁）。

墨ベタ（K100%）の使用領域は広告の段数により制限があります。

1段以上7段までは全体の半分まで。

7段をこえるものは全体の3分の1まで。

1段未満は制限ありません。

※詳しくは本ガイド末尾の「UCR設定および総インク量について」をお読みください。

☆色校正ゲラについて

基本は平刷り校正ゲラです（カラーブループリンタで出力する場合はプリンタのプロファイルを当社に合わせる必要があります）。

※CMYいずれかの単色原稿を制作する場合は、掲載面が単色かフルカラーか確認してから制作してください。

☆簡易インクジェットで出力したゲラについて

簡易プリンタで出力した色校正ゲラでは輪転機の色調整は不可能です。ただし、広告主との色確認の際、インクジェット出力の校正ゲラに比べ紙面では若干色が沈み色合いが多少異なる事などが了解の上であれば、簡易インクジェットプリンタで出力したゲラ（1枚）での入稿を認めます。印刷は制作されたデータ通りで行いインキ調整はいたしません。

※色部分は必ずC版で作成してください。ダブルトーンや特色は使用不可。

カラースウォッチは必ずCMYKモードに変換してください。

☆特色の疑似色を色の掛け合わせで作成した場合、入稿データの色版は必ずC版に戻してください。

対応できるバージョンは

(N-PDF形式原稿作成の場合) CS2～

(EPS形式原稿作成の場合) ver.5.5～CS4

保存形式は

(EPS形式保存の場合) Photoshop EPS

保存時のEPSオプション

【プレビュー】Macintosh (8bit/pixels)

【エンコーディング】バージョンにより異なります

CS～CS4 = ASCII85

下位ver. = バイナリ、JPEG (最高画質)

【ハーフトーンスクリーンを含める】OFF

【トランスファ関数を含める】OFF

【ポストスクリプトカラーマネジメント】OFF

【画像補間方式】OFF

【EPS画像のプロファイル設定】<プロファイルの埋め込み>のチェックはすべてはずし、**プロファイルを埋込まない**設定にしてください。

(TIFF形式保存の場合) Photoshop TIFF

保存時のTIFFオプション

【画像圧縮】なし、LZW、ZIP のいずれか

【ピクセルの順序】インターリーブ

【バイト順序】Macintosh

【画像ピラミッドを保存】OFF

- ◆画像解像度はモノクロ、カラーともに掲載実寸で200dpiに設定してください。
- ◆ロゴ・カット類は1200dpiで取り込むことを推奨します。解像度が低いと不鮮明になります。
- ◆モノクロ写真画像は確実に**グレースケールに変換**してください。
- ◆写真原稿の取り込みには十分注意し、ハイライト、シャドウを整えて階調補正をしてください。
- ◆写真画像の切り出しはクリッピングパスを指定してください。
- ◆カラー写真のUCR値は240%です。UCRの設定については本ガイド末尾に記載しています。

※弊社では写真の階調補正などはいたしません。



※印刷に必要な解像度は一般的に線数の2倍あれば良いと言われています。解像度が低いとジャギーが出て画像が不鮮明になり品質が悪くなります。逆に高くしすぎても線数以上の解像度で再現されることはなく、データ容量が増えてしまうなどデメリットもあります。使用サイズ(掲載実寸サイズ)にあわせ適正な解像度を設定してください。

※モノクロ2階調のスキニングは線画モードでの取込みを推奨します(グレースケールの場合、データ容量が増え画像の縁が不鮮明な仕上がりになります)。

※階調補正は新聞印刷の特性を考慮して行ってください。

①純白紙より若干黄味をおびている②高速印刷③乾燥機はない④インキの粘度は低い⑤ドットゲインが発生するため色が少し濃くなるー以上の事から画像補正では中間調をやや明るめにしてください。モノクロ写真の場合、98%以上はベタになります。

※リンク画像にした場合、基画像を別のフォルダに移動すると、保管場所が不明になるので**「リンクの再設定」**が必要です。特に原稿制作後、フォルダにひとまとめに格納した時は注意してください。

※画像は配置、埋込みのどちらでも入稿できますが、埋込みの画像点数が多い場合は、容量が大きくなりますので事前にご相談ください。

(N-PDF形式原稿作成の場合)

配置した画像データは全て埋め込みをおこなってください。リンク配置のままPDFを作成すると意図しない仕上がり結果となる場合があります。

対応できるバージョンは

(N-PDF形式原稿作成の場合) CS2～

(EPS形式原稿作成の場合) ver.8～CS4

保存形式は

(N-PDF形式保存の場合) N-PDF

N-PDFの制作ガイドに従い、**規定のプリフライトを実行して、エラーがないことを必ず確認する**

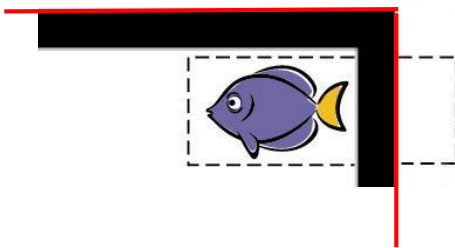
(EPS形式保存の場合) Illustrator EPS

【ポストスクリプト】レベル 3、レベル 2

【プレビュー】8-bit(256色)Macintosh

画像(写真など)などの不要な余白が広告スペース外にあるとその部分まで原稿エリアとして認識します。**突出した部分がある場合はパスのアウトライン外側でマスク処理し、不要な部分が認識されないようにしてください。エリア外の孤立点も厳禁です。**

※掲載範囲の一番外側でマスク処理する



弊社のシステム設定

網線数 モノクロ = 140線 カラー = 210線

網角度 モノクロ = 45度

カラー C = 15度 M = 45度 Y = 0度 K = 75度

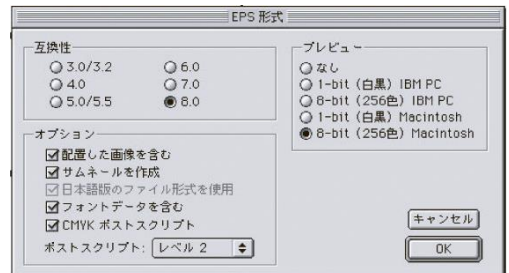
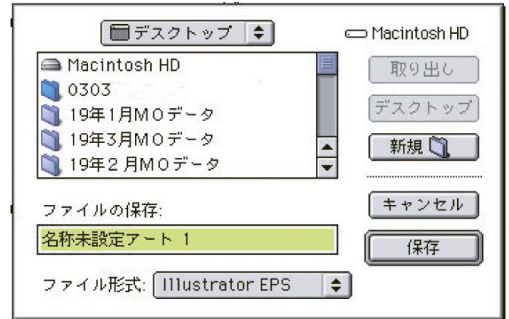
紙面で再現できる**最小網点は4%**です。これ以下の網は紙面では再現されません。

(平網は10%～80%程度が望ましい)

罫線は、0.3pt以上を推奨します。

注意 = ai ファイルでは入稿できません

◇データ保存時のチェック項目



◇実画像を配置する方法

①画像を配置する際<リンク>チェックボックスをチェックし、**保存の際に<配置した画像を含む>**をチェックし画像を内包する方法。
※この場合、使用する画像とリンクが確実に取れているか必ず確認してください。制作後画像を移動した場合は、リンクが外れますので**「リンクの再設定」**が必要です。入稿の際は必ず**広告原稿と同じフォルダ内**に使用する画像を格納してください。

②画像を配置する際<リンク>チェックボックスをチェックせず、画像を内包する方法。
(入稿の際は念のために広告原稿と同じフォルダに使用する画像を格納してください)

※この場合、原稿内に画像がそのまま埋め込まれますのでデータが重くなります。画像点数が多い場合は避けてください。

(N-PDF形式原稿作成の場合)

配置した画像データは全て埋め込みをおこなってください。リンク配置のままPDFを作成すると意図しない仕上がり結果となる場合があります。

広告の周りを罫で囲む場合は、罫のパスのアウトラインを取り、罫幅を含めた外側から外側を原稿サイズにしてください。(イラストレータでは罫の中心を基準に罫が引かれ罫幅分サイズが大きくなるため)

◆パスのアウトラインの取り方

広告の囲み罫を選択してから
オブジェクト⇒パス⇒パスのアウトライン

◆囲み罫のない広告について

囲み罫のない広告は、広告サイズに合わせた白か透明の四角形をバックに配置してください。

◆レイヤーの結合

複数の「レイヤー」を使用している場合はすべてを結合してください。出力時にトラブルの原因となります。

◆パターンスウォッチは使用禁止

パターンスウォッチを使用しないでください。出力時にトラブルの原因となります。

◆カラースウォッチはCMYKに変換

カラースウォッチ(グラデーションスウォッチを含む)は、必ずCMYKに変換してください。出力時にトラブルの原因となります。

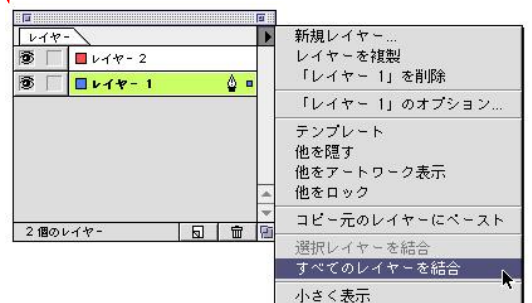
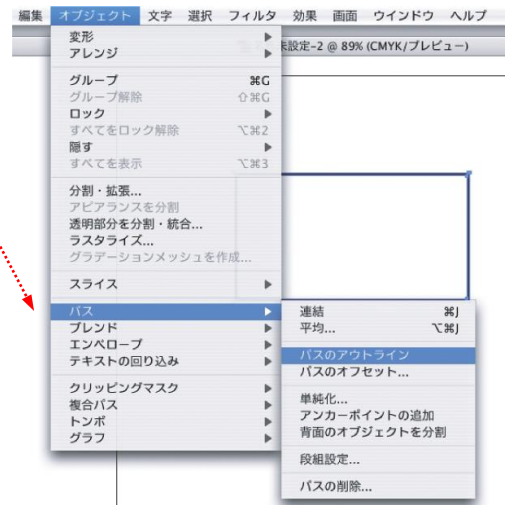
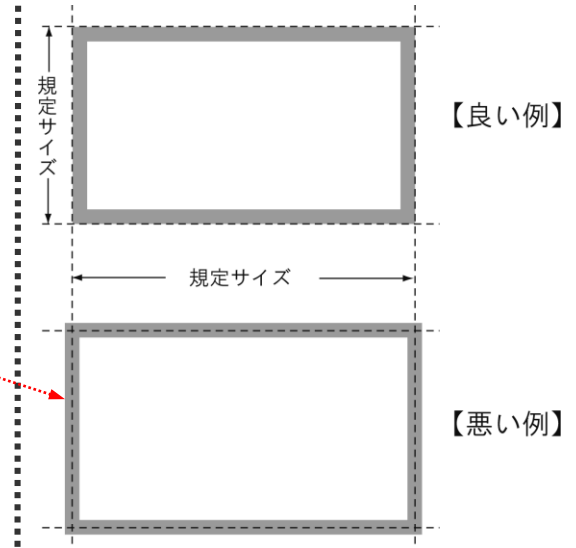
(N-PDF形式原稿作成の場合)

◆アートボードのサイズ

原稿サイズをアートボードサイズとして設定する。

◆モノクロ原稿の場合

モノクロ原稿の場合、オブジェクトや画像を埋め込んだ後にグレースケール化してください。



入稿前のチェック

「広告データ持込み入稿チェック票」(10頁参照)に基づき、
入稿前にチェックしてください。

1. N-PDF形式 or Illustrator EPS形式で保存
2. 配置データはPhotoshop EPS形式 or TIFF形式
3. 配置データ（写真、ロゴ等）の漏れはない
4. オーバープリントは使用していない
5. 総インク量は240%以内に収まっている
6. QRコードはモノクロ2階調で作成した
7. パターンスウォッチは使用していない
8. カラーสウォッチはCMYKに変換した
9. 寸法の確認（4頁参照）
10. フォントを含む全てをアウトライン化
11. ロックは全て解除
12. 全てのグループを解除

グループ化したオブジェクトは、アートワークの同じレイヤー上に配置されそのグループの最前面のオブジェクトの背面に順次重ねられます。グループ化するとオブジェクトが別のレイヤーに移動したり、レイヤー上でのオブジェクトの重なり順が変わってしまう場合があります。また、異なるレイヤーのオブジェクトを選択してからグループ化した場合は選択したオブジェクトの最前面のレイヤーにオブジェクトがグループ化されます。これらの危険性を回避するために全てのグループは解除してください。

13. レイヤーの結合

複数の「レイヤー」を使用している場合は、すべてを結合してください。

14. 不要なオブジェクトの排除（孤立点など）

広告原稿範囲外の不要なオブジェクト(文字、トンボ、孤立点、ガイドライン、掲載日、注釈など)はすべて削除してください。残っているとその部分も原稿と認識し正確な寸法で処理できませんので不要なオブジェクトは最終段階で削除してください。

入力しないまま残したテキスト孤立点はアウトライン化されないで残りますので、必ず削除してください(広告スペース外にある場合は特に注意が必要)。

15. データは広告主名をつけたフォルダに格納

全データを1フォルダの1階層で管理。配置していない不要なデータは入れないでください。

16. ウイルスチェックを行う

入稿前に必ずアンチウィルスソフトで問題がないことを確認してください。

17. PDFを添付する(掲載情報を付記する)

最終データで出力してください。

(N-PDF形式保存の場合)

- ①原稿サイズをアートボードサイズとして設定
 - ②配置データは全て埋め込んだ
 - ③規定のプリフライトでエラーはない
- をチェックする。

企画物の入稿について

弊社が企画した広告の場合、入稿方法や入稿寸法に変更がある場合があります。その都度、企画書にてご案内いたしますので制作はそれに従ってください。

★簡単なデータチェック方法

(N-PDF形式保存の場合)

規定のプリフライトでエラーを確認する。

(EPS形式保存の場合)

- ①作成した端末とは別の端末でデータを開いてみる。
→エラー表示が無く開けたらOK
- ②イラストレータで新規ファイルを開き作成したデータを「配置」する。
→掲載エリア外に余白がなければOK

孤立点について

編集(E)	オブジェクト(O)	文字(T)	フィルタ(L)	画面(V)	ウインドウ(W)
取り消し(U)	Ctrl+Z				
やり直し(R)	Ctrl+Shift+Z				
カット(T)	Ctrl+X				
コピー(C)	Ctrl+C				
ペースト(P)	Ctrl+V				
前面へペースト(F)	Ctrl+F				
背面へペースト(B)	Ctrl+B				
消去(L)					
パターン設定(O)...					
すべてを選択(A)	Ctrl+A				
選択を解除(D)	Ctrl+Shift+A				
選択(S)					

再選択(A) Ctrl+6
同一のペイント設定(P)
同一色の塗り(F)
同一色の線(C)
同一の線幅(W)
マスク(M)
孤立点(S)
ブラシストローク(B)
未選択オブジェクト(O)

テキスト孤立点を「編集」⇒「選択」⇒「孤立点」で選択し削除してください。未入力テキストボックスは「オブジェクト」⇒「パス」⇒「パスの削除」で「空のテキストパス」にチェックを入れOKをクリックして削除してください。

入稿チェック票

広告データ持込み入稿チェック票

広告主名	
掲載日・段数	年 月 日 段
制作者(社)	
連絡先	

※□にチェックを入れる

- ☐ N-PDF 形式保存
- ☐ 原稿サイズをアートボードサイズとして設定
- ☐ 配置データは全て埋め込んだ
- 配置データは ☐ Photoshop EPS 形式 ☐ TIFF形式
- ☐ 規定のプリフライトでエラーはない
- ☐ Illustrator EPS 形式保存
- バージョンはIllustrator ☐ 8.0.x ☐ 9.0.x
- ☐ CS ☐ CS2 ☐ CS3 ☐ CS4
- 配置データは ☐ Photoshop EPS 形式
-
- ☐ 配置データ(写真・ロゴ)の配置漏れはない
- ☐ オーバープリントは使用していない
- ☐ 総インク量は240%以内に収まっている
- ☐ QRコードはモノクロ2階調で作成した
- ☐ パターンスウォッチは使用していない
- ☐ カラーズウォッチはCMYKに変換した
- ☐ 寸法の確認
- ☐ フォントを含む全てをアウトライン化
- ☐ ロックは全て解除
- ☐ 全てのグループ解除
- ☐ レイヤーの結合
- ☐ 不要なオブジェクトの排除(孤立点、トンボなど)
- ☐ データは広告主名を付けたフォルダに格納
- ☐ コンピュータウイルスは無い
- ☐ PDF添付(掲載日・広告主・掲載段数を明記)

特別な連絡事項

南日本新聞社 営業局 広告営業部 TEL099-813-5071

※チェック票は最新版をお使いください。
最新版は2016年4月改定版です。

※チェック項目は必ず再確認し、記入してください。緊急連絡のため制作会社、制作担当者、電話番号を必ず記入してください。

※入稿の際は、左の入稿チェック票に記入し、MO、CDのケースに入れてください。

※N-PDFの場合はファイル名規約に則ってお願いします。

◆ご入稿時の添付物などについて◆

- ・MOデータチェック票は必ず添付してください。広告主名、掲載日、制作会社名、制作担当者名、連絡先(電話番号)を明記し、**チェック項目は必ず確認**してください。
- ・広告原稿ファイルと**同ソフトで生成した念校用PDFファイルも必要**です。
- ・**出力見本は最終データで出力**してください。原寸大で原稿の枠外に掲載日、広告主名、掲載段数を記載してください。モノクロは1枚、カラー原稿は1枚(**色味指示がある場合は4枚**)必要です。
- ・カラー・単色原稿の出力プリントの紙質は新聞紙に近いペーパーを使用してください。

※MOデータと出力見本は一致すること。

※MOは紙面掲載後に当社営業部で返却します。

入稿締め切り時間

■カラー原稿（2色混・単色含む）

掲載日の3営業日前の午後3時

◆モノクロ原稿

掲載日の2営業日前の午後3時

※入稿締め切り時間および在版の使用については各支社で対応しますので、詳細はお問い合わせください。

※臨時ものにつきましては、別途入稿時間を打ち合わせた上で、掲載前日の対応をいたします。

※在版の使用はできません。再度入稿をお願いします。但し、申込時に複数の掲載日が確定し、尚且つ、同一原稿の場合は、初回のみ送稿が可能です。

※審査の結果、入稿後でも原稿の修正をお願いする場合がございます。

※上記以外のことは別途協議の上対応させていただきます。

南日本新聞社

◆本社 〒890-8603 鹿児島市与次郎一丁目9番33号
営業局 広告営業部 Tel (099)813-5071 Fax 813-5088

◆東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル7階
Tel (03)6260-6131 Fax 3541-6411

◆大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2（大阪駅前第2ビル4F）
Tel (06)6343-0561 Fax 6343-0919

◆福岡支社 〒810-0001 福岡市中央区天神 4-2-20天神幸ビル7階
Tel (092)712-6856 Fax 761-1580

原稿制作における UCR の設定および総インク量の確認について

標記の件につきましては弊社のデジタル入稿ガイドに記載していますが、具体的な設定について説明いたします。

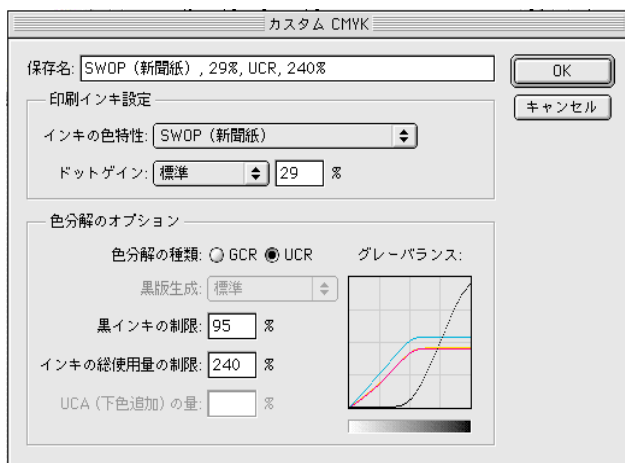
新聞広告のデータ作成では UCR 設定や総インク量が重要な項目です。規定値を上回るデータは、インキの転写不良や対向面、他の広告・余白等を汚すなどの影響があります。素材を CMYK モードに変更する際の UCR 設定や原稿作成時の総インク量をご確認ください。

1. UCR の設定について

- ① 新聞印刷は、高速オフセット輪転機で印刷しているためインキの粘度は低く印刷用紙もインキを吸いやすいものを使用しています。このため一般の商業印刷に比べ総インク量を低く設定する必要があります。
- ② 入稿データに含まれる写真データの UCR は次のように設定してください。Adobe Photoshop CS2 以降はカラー設定を Japancolor2002 Newspaper に設定してください。設定方法は「編集」→「カラー設定」→「作業スペース」→「CMYK」欄のプルダウン項目から「Japancolor2002 Newspaper」を選択＝下左図。「Japancolor2002 Newspaper」の UCR は 240% です。

旧バージョンは下右図を参照。「編集」→「カラー設定」→「作業スペース」→「CMYK」欄で「カスタム CMYK」と選択。インキの色特性は SWOP（新聞紙）、色分解の種類は UCR、黒インキの制限は 95%、インキの総使用量の制限を 240% にしてください。

※なお旧バージョン用「Japancolor2002 Newspaper」の ICC プロファイルは、Adobe 社のホームページよりダウンロードできます。ファイルのダウンロードおよび設定については、各制作会社の責任において行ってください。



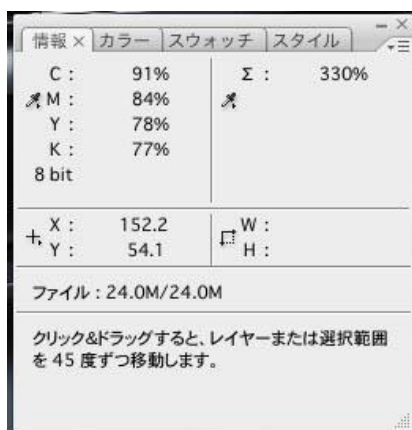
- ③ UCR 設定は、RGB 画像を CMYK 画像にモード変更する際に反映されます。カラー設定をすると CMYK にモード変更するだけで総インク量は 240% になります。
- ④ UCR 設定は、すでに CMYK になっている画像には何ら反映されません。RGB 画像から作り直してください。
- ⑤ UCR の設定値は出版物ごとに違います。印刷条件が異なるためそれぞれ設定が必要です。弊社

は南日本新聞以外に生活情報誌フェアアを発行しています。フェアアの UCR は 240% です。

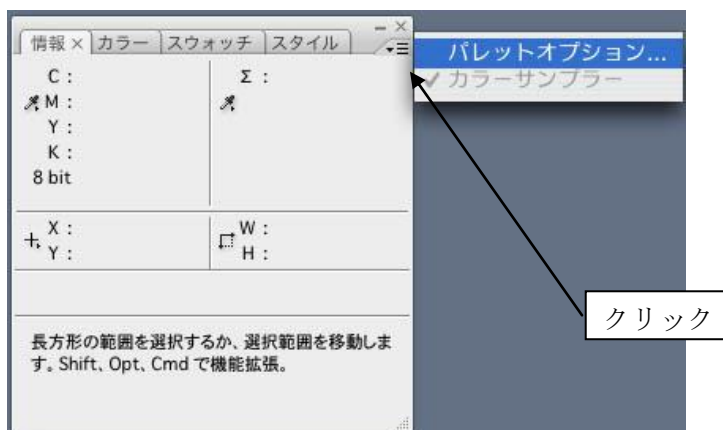
- ⑥ その他、弊社デジタル入稿ガイドに記載の事項も再度ご確認をお願いいたします。現在のデジタル入稿ガイドの最新版は 2021 年 10 月改定版です。

2. 総インク量の確認について

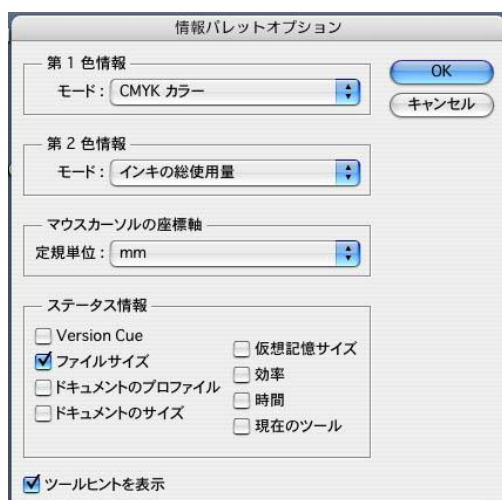
- ① Adobe Photoshop 画面上で各色の色情報を確認することができます。



(a)



(b)



(c)

(a) 情報画面の表示は「ウィンドウ」→「情報」を選択。表示している素材画像にカーソルを合わせると図のように色情報が表示されます。

(b) 情報画面の右上（矢印で表示）部分をクリックすると「パレットオプション」が選択できます。「パレットオプション」をクリックすると (c) の画面が表示されます。

(c) 図のように第1色情報、第2色情報をプルダウンメニューから選択できます。ここでは第1色情報に「CMYK カラー」、第2色情報に「インキの総使用量」を表示するよう設定した画面を表示しています。設定すると (a) のように表示されます。

- ② Adobe Illustrator でオブジェクト等にカラー色をつける場合も、同様に CMYK の総計は 240% です。

3. 原稿不備の対応について

弊社では、カラー写真の補正や文字修正の手直しは一切いたしません。再入稿となりますのでご注意ください。

ご不明な点は、営業局 編成部（099-813-5079）までお問い合わせください。